

保証書付き

家庭用

全自動コーヒーメーカー

品番 DL2G04



CONTENTS

1. 取り扱い上のご注意……………P1～2
 2. 各部のなまえ……………P3
 3. 使いかた……………P4～7
 4. お手入れのしかた……………P8～15
 5. 故障かな?!と思ったら……………P16
 6. 仕様……………P17
 7. アフターサービスについて……………P18
- 保証書……………裏表紙

最新の取扱説明書はこちら





ニトリネットの商品ページからもご確認いただけます。



この度は、株式会社ニトリの商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。取扱説明書は大切に保管していただき、必要なときにお読みください。

1. 取り扱い上のご注意

ここに示した注意事項は、危害や損害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ず守ってください。













-  **警告** 注意を無視した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
-  **注意** 注意を無視した取り扱いをすると、物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。


絵表示の例

-  記号は、「禁止」(しないでください)を示します。
-  記号は、「強制」(必ずしてください)を示します。










警告

電源コード・電源プラグについて

-  電源コードを傷つけたり変形させたりしない(無理に曲げる、ねじる、引っ張る、束ねる)また、重いものをのせたり、機器にはさまない、熱器具へ近づけたりしない
- 火災や感電の原因になります。
-  電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しない
- 火災や感電の原因になります。
-  めれた手で電源プラグを抜き差ししない
- 感電やけがの原因になります。
-  コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや交流100V以外では使用しない
- たこ足配線などで定格を超えると発熱し、発火、感電の原因になります。
-  お手入れ時は電源プラグをコンセントに差し込まない
- 絶縁劣化による感電、漏電火災、けがの原因になります。
-  電源コードをはさまない
- 電源コードが断線して、ショートなどによる感電や火災の原因になります。
-  本体に電源コードを巻き付けない
- 電源コードの発火、故障の原因になります。
-  電源コードにタイマーなどの外部機器をつないで使用しない
- 故障や事故の原因になります。
-  使用時以外は電源プラグを抜く
- 絶縁劣化による感電、漏電火災、けがの原因になります。
-  電源プラグのホコリなどは定期的に取り除き、コンセントに差すときは金属などをはさまないように注意する
- 湿気などで絶縁不良となり、故障や火災の原因になります。
-  お手入れや収納の際は、電源プラグを抜き、必ず本体が冷めてからおこなう
- 感電ややけどの原因になります。
-  電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持って抜く
- 感電やショートなどによる発火の原因になります。





-  次のような場合は、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜いてニトリお客様相談室にお問い合わせください。
- ・電源プラグや電源コードが異常に熱くなる
 - ・本体から煙や異常なおいが出る
 - ・電源コードに深い傷や変形がある
 - ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 傷んだ電源プラグや電源コードは、絶対に交換、分解、修理、改造をしないでください。

使用について

-  絶対に分解、修理、改造をおこなわない
- 発火したり、異常動作してけがや火災の原因になります。
-  この取扱説明書に記載のない目的、使いかたで使用しない
- けが、事故、故障の原因になります。
-  本体に水をかけたり、水洗いしない
- 蒸気や、水のかかる場所では使用しない
 - 火災や感電、故障の原因になります。
-  開口部やすき間にピンや針金などの金属物や異物を入れない、指などを入れない
- 内部に触れ、感電やけがなどの原因になります。
-  引火性の危険物(ガソリン、シンナー、スプレー缶など)、火気の近くでは使用しない、近くに置かない
- 火災・爆発の原因になります。
-  燃えやすいものや熱に弱いものの近くで使用しない
- ・たたみ、じゅうたん、テーブルクロスの上
 - ・カーテンなど
 - 使用時は、高温になり、引火や火災の原因になります。
-  小さなお子さまなど取り扱いに慣れない方だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところで使用しない、設置、保管しない、お手入れさせない
- やけど、感電、けがの原因になります。
-  倒したり、落したり、強い衝撃を与えない
- 破損して火災や感電の原因になります。
-  ガラスポットをセットせずに使用しない
- 熱湯が飛び散り、やけどやけが、感電、ショート、発火の原因になります。

















1. 取り扱い上のご注意

警告

-  製品が入っていた袋は、お子さまがかぶらないように手の届かないところに保管または廃棄する
●窒息の原因になります。
-  使用中や使用直後は、保温板やドリップ口、および蒸気口に手を触れない
●高温になっていますので、やけどをするおそれがあります。特に乳幼児には触らせないように、ご注意ください。
-  蒸気口に手や顔を近づけない、手を触れないふきんをかけて使用しない
●やけどの原因になります。
-  ドリップ直後、ガラスポットを取りはずすときは、ドリップ口の蒸気に気をつける
●ドリップ口から熱い蒸気が出るので注意してください。

注意

使用について

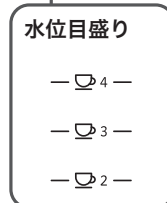
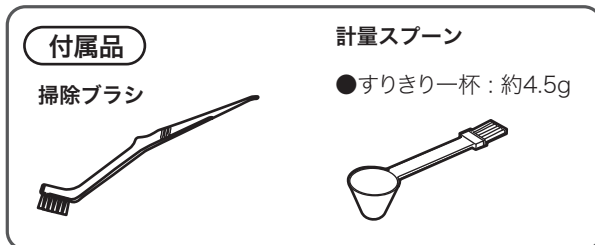
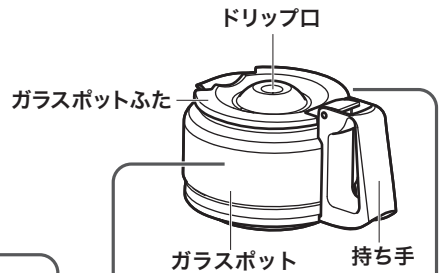
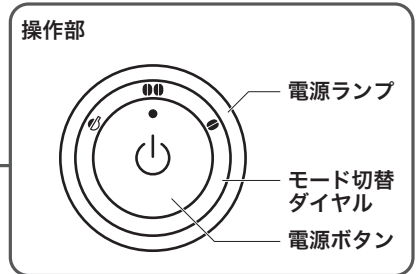
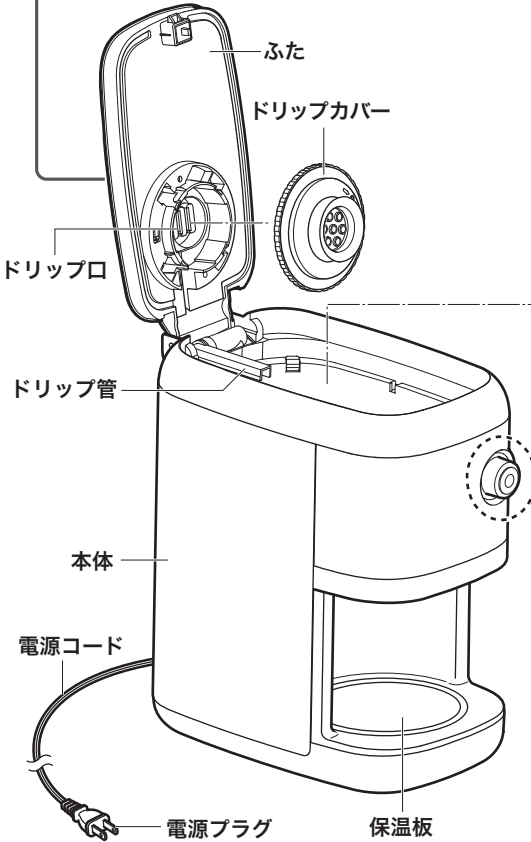
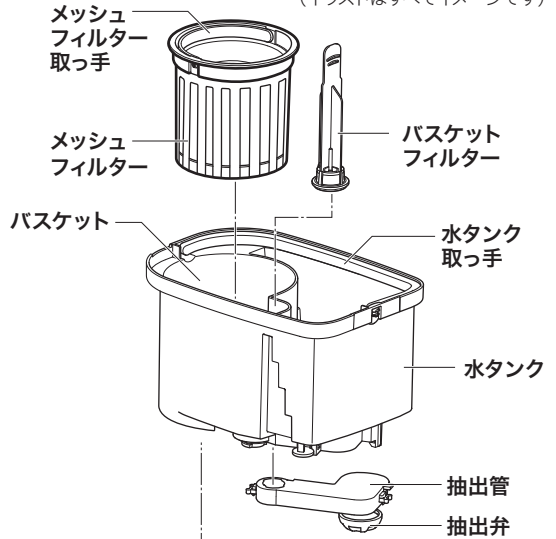
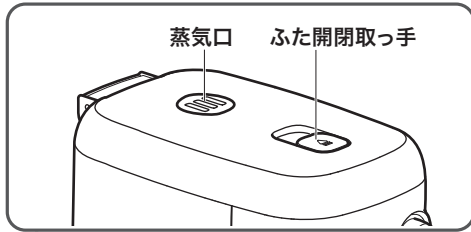
-  使用中は本体を持ち運ばない
●けがの原因になります。
-  不安定な場所(凹凸のあるところ、敷物の上など)、滑りやすい場所などでは使わない
●転倒してけがや破損の原因になります。
-  コーヒーをドリップする以外の目的で使わない
●故障の原因になります。
-  ドリップ中は、ガラスポットをはずしたり、ふたを開けたりしない
●熱湯が飛び散り、やけどやけがの原因になります。
●ドリップが完全に終わるまで待ってください。
-  壁や家具の近く、キッチン用収納棚など蒸気がかかる場所で使わない
●蒸気や熱で家具を傷め、変色、変形の原因となります。
-  精密機器の上で使わない
●コーヒーがこぼれたりすると、機器が故障する原因になります。
-  付属のガラスポット以外は使わない
●やけどや故障の原因になります。
-  ドリップ直後にふたを開けない
●やけどのおそれがあります。
-  ガラスポットが熱いうちに、水の中に入れたり、水をかけたり、ぬれた場所に置かない
●破損の原因になります。
-  水タンクに、お湯や牛乳、コーヒーなど水以外のものを入れない
●変形や故障の原因になります。
-  ガラスポットを食器洗浄機や食器乾燥機に入れたり、直火にかけたり、電子レンジやオーブンなど、他の調理器具で使わない
●破損や変形し、けがや故障の原因になります。
-  空だきをしない
●火災や故障の原因になります。
ドリップをしないときは、空のガラスポットを保温板に置いたまま電源を入れないでください。
-  水タンクに水を入れたまま放置しない
●故障や変色、においの原因になります。
-  ガラスポットをセットしたまま、本体を持ち運ばない
●ガラスポットが落下して破損の原因になります。
-  殺虫剤などの薬品の入ったスプレーをかけたり、油や薬品を使う場所で使わない
●樹脂や塗装が変質したり、破損の原因になります。
-  続けてコーヒーを作る場合は、電源を「切」にして、約10分間をあげる
●本体が熱いうちに給水したり動かしたりすると、湯出口から蒸気や熱湯が噴き出てやけどの原因になります。

お願い

- アルカリイオン水を使用した場合、本体内部にカルシウムが付着しやすくなったり、付着したカルシウムがはがれて、本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐなどのトラブルの原因になります。よりこまめなお掃除をしてください。
- 製品および梱包材を廃棄する際は、お住まいの自治体の取り決めに従ってください。
- 天災などの不可抗力やお客様のお取り扱い上の不注意、不当な修理、改造による故障、破損に対する保証は致しかねます。
- 本品は業務用ではなく、家庭での使用を目的としておりますので、本来の用途以外でのご使用はお止めください。

2. 各部のなまえ

(イラストはすべてイメージです)



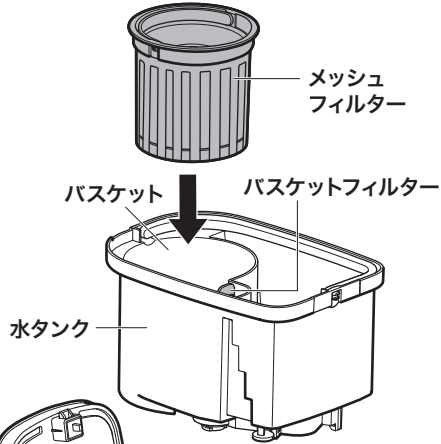
3. 使いかた

はじめて使用するとき、または長期間使用せずに保管していたときは、水だけで2～3回、運転してください。(熱湯洗浄します)

取りはずして洗える部品などは、ご使用まえに一度洗ってから使用してください。(お手入れのしかた参照/8～15ページ)

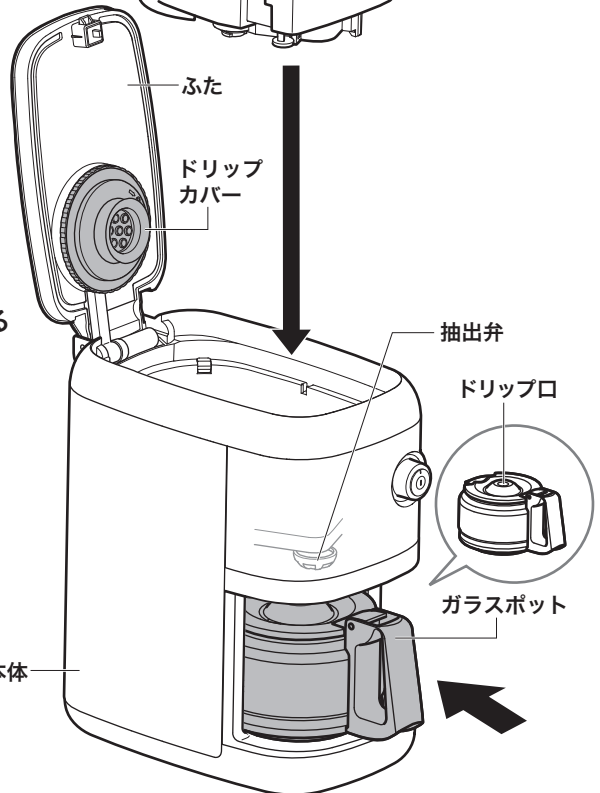
1 水タンクにバスケットフィルターとメッシュフィルターをセットする

- バスケットフィルターが水タンクのバスケット内にしっかり取り付けられていることを確認してください。
- バスケットフィルターの着脱方法は「お手入れのしかた」(10～12ページ)をご確認ください。



2 水タンクを本体に取り付ける

- ドリップカバーが本体にしっかり取り付けられていることを確認してください。
- ドリップカバーの着脱方法は「お手入れのしかた」(12～14ページ)をご確認ください。



3 ガラスポットを保温板にセットする

- ガラスポットふたが閉じていることを確認し、ガラスポットを平行に、奥までしっかりと差し込んでください。
- 奥までしっかりと差し込まないと、抽出弁が開かずコーヒーが滴下されません。
- 差し込む時に抽出弁にガラスポットを引っ掛けられないよう注意してください。

⚠ 注意

保温板やガラスポットの底面に水分や汚れが付いた状態で使用しない

- 保温板の表面がはがれたり変色する原因になります。

3. 使いかた

4 コーヒー豆または粉を入れる

- 付属の計量スプーン(すりきり1杯約4.5g)を使用して、コーヒー豆または粉をメッシュフィルターに入れてください。
- 粉・豆はメッシュフィルター内のMAX線以上は入れないでください。
- 細挽きやエスプレッソ用のコーヒー粉は、フィルターが目詰まりの原因となりますので向いていません。

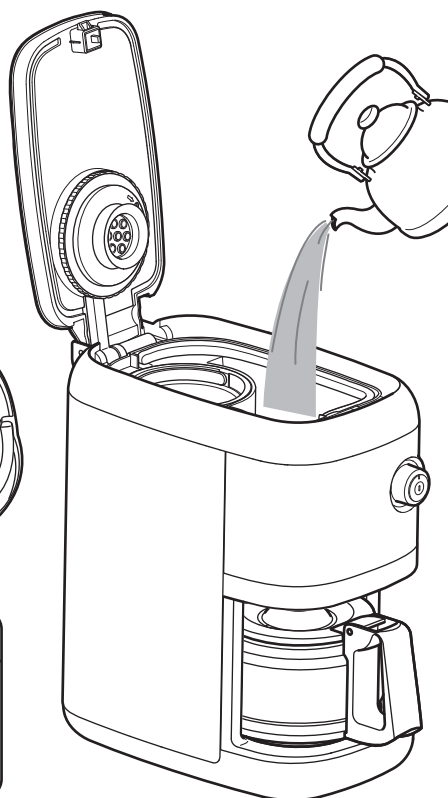
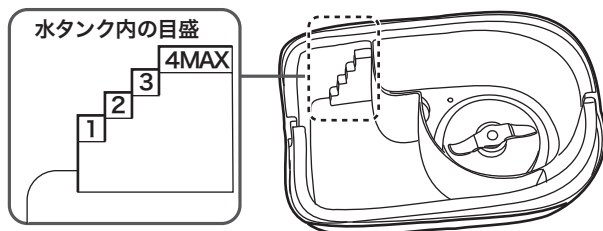


水位目盛り(杯)	コーヒー粉量の目安(計量スプーン/すり切り1杯 約4.5g)		
			
1	約 12g	—	約 15g
2	約 18g	約 25g	約 25g
3	約 25g	約 30g	—
4	約 30g	—	—

お願い ● コーヒー豆または粉の量は目安です。コーヒーの種類やお好みにより調節してください。

5 水タンクに水を入れ、ふたを閉める

- 水タンク内側の目盛に合わせてドリップする分量の水を入れてください。水タンク内側の目盛はカップ用の目盛です。
- マグカップ、アイスコーヒーの分量はガラスポットに入っている目盛に合わせてガラスポットから給水してください。
- ふたは「パチンッ」と音がするまで確実に閉じ、浮いていないことを確認してください。



⚠ 注意

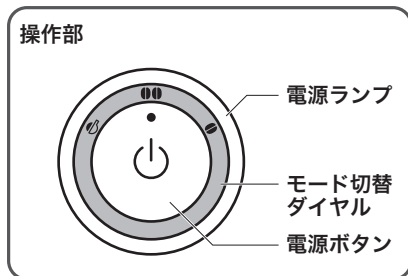
MAX(4杯)以上の水を入れない

水を入れるときは、本体やメッシュフィルター、バスケットフィルターにかからないよう注意する
蛇口から直接給水したり、勢いよく注いだりしない

3. 使いかた




6 電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源ランプが白色に点灯した後すぐにオレンジ色に点灯します。
- 電源ランプが点滅した場合は、ふたが閉まっていません。水タンクがきちんとセットされているか確認し、ふたを閉めてください。
- 5分間何も操作しないと、電源ランプが消灯しスリープ状態となります。電源ボタンを押すかダイヤルを回すとふたたび電源ランプが点灯します。






7 モードを選択

- モード切替ダイヤルを回し、設定したいモードを「●」に合わせてください。

	粉(粉モード)	豆を挽かずに粉で淹れるとき
	豆1(豆モード1)	粗挽きや20g未満の豆を挽くとき
	豆2(豆モード2)	中・細挽きや20g以上の豆を挽くとき

8 電源ボタンを押す

- 電源ボタンを押すと電源ランプが白色に点滅し運転を開始します。

	粉(粉モード)	抽出がすぐに始まります。
	豆1(豆モード1)	ミルが稼働し止まったあとに抽出が始まります。
	豆2(豆モード2)	

注意

抽出中はふたを開けたり、水を足したりしない
抽出が終わると蒸気口やふたの縁から蒸気が出るので注意する

3. 使いかた

9

コーヒーを注ぐ

- 抽出が終わったら電源ランプが白色に点灯し保温が始まります。ガラスポットを取り出し、カップなどに注いでください。



⚠ 注意

ガラスポットを傾けすぎない

- ガラスポットのふたは固定されていません。勢いよく注いだり、傾けすぎるとガラスポットのふたが開きますので注意してください。

■アイスコーヒーをつくるときは、耐熱グラスに氷を入れて、抽出したコーヒーを氷の上にゆっくり注ぐ

- グラスが割れないよう、耐熱性のある容器をご用意ください。

お願い

- 熱いコーヒーは、グラスにあたらないように、氷の上にゆっくりと注いでください。熱いコーヒーの中に氷を入れると、グラスが割れるおそれがあります。
- ガラスポットの中の熱いコーヒーに氷を入れると、ガラスポットが割れるおそれがありますのでお止めください。



10 保温する

- 抽出が終了すると電源ランプが白色に点灯し約30分の保温が始まります。(保温機能)
- 保温開始から約30分後に保温が終了し電源ランプがオレンジ色に点灯します。

お願い

- 保温板は高温ですので保温中、保温後しばらくは直接手を触れないようご注意ください。
- 抽出中もしくは保温中に運転を止めるときは電源ボタンを押してください。

⚠ 注意

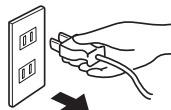
抽出後は早めに飲む

ガラスポットが空焚き状態にならないよう注意する

- 残ったコーヒーを保温板に長時間放置するとコーヒーが煮詰まっていきます。また、長時間保温するとコーヒーの風味が損なわれます。

11 電源プラグを抜く

- 電源ランプがオレンジ色に点灯または消灯していることを確認し電源プラグを抜いてください。



4. お手入れのしかた

- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、保温板が冷めてから、各部品のお手入れをおこなってください。

本体外側、保温板

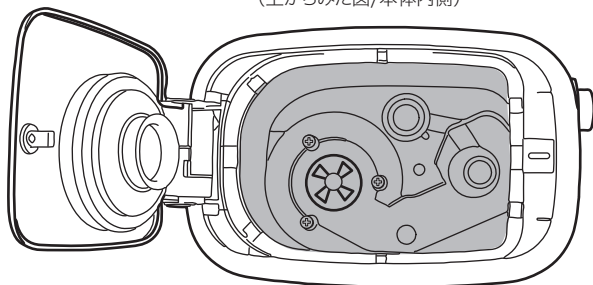
汚れが目立ってきたら水で薄めた台所用中性洗剤を含ませた布を固く絞ってふき取る

- 水気が残らないように、乾いた布でやさしくからぶきをしてください。
- 保温板のすき間に水が入らないようにふき取ってください。

本体内側

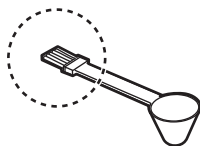
水タンクをはずし、コーヒー粉などを付属の計量スプーンのブラシの部分ややわらかい乾いた布で丁寧に取り除く

(上からみた図/本体内側)



⚠ 警告
本体に水をかけたり、水洗いしない ●感電ややけどの原因になります。
⚠ 注意
磨き粉や金属たわし、ベンジン、シンナー、漂白剤などは使用しない ●変色や変形の原因になります。
本体、電源コード、電頭プラグは水洗いできません ●水洗いすると故障の原因になります。

計量スプーンのブラシ部分



電源プラグ、電源コード

やわらかい布で汚れをふき取る

- 汚れがひどいときは、水で薄めた台所用中性洗剤を浸したやわらかい布を固く絞って汚れを落とし、乾いた布で水分をよくふき取ってください。

4. お手入れのしかた

水タンク、メッシュフィルター、バスケットフィルター、抽出管、ガラスポット

台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯で、やわらかいスポンジなどを使用して洗い、水でよくすすぎ、乾いた布で水分をふき取り、十分に乾燥させる

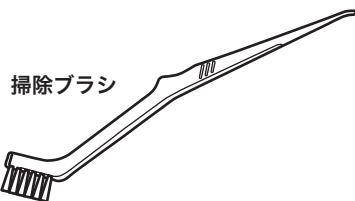
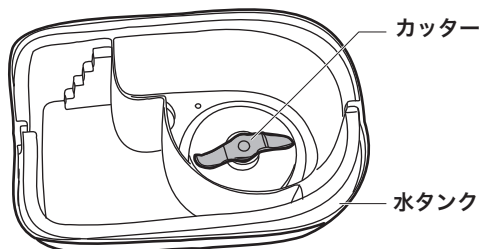
- コーヒー粉のかすが残っていると、酸化して、次回使用時にコーヒーの風味を損なう原因になりますので、すみずみまで丁寧に洗ってください。
- 汚れがひどい場合は、クエン酸をとかしたぬるま湯(右図)でお手入れしてください。

市販品:ポット洗浄用クエン酸など
約250mLのぬるま湯(30～40℃)に、
クエン酸を小さじ約半分(約1g)を加え
よく混ぜる



■ 水タンク

- 水タンク内のカッターのお手入れは、付属の掃除ブラシを使用してください。

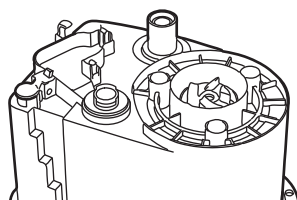


⚠ 注意

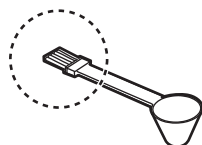
水タンク内のカッターをお手入れするときはカッターでけがをしないように注意してください。

- 水タンク裏側は、付属の計量スプーンのブラシ部分を利用してコーヒー粉を払って取り除いてください。

(水タンク裏側)



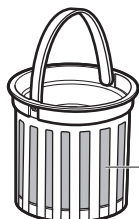
計量スプーンのブラシ部分



4. お手入れのしかた

■ メッシュフィルター、バスケットフィルター

- 水タンクから取りはずしてお手入れしてください。
- 網目に詰まったコーヒー粉は、付属の計量スプーンのブラシの部分で払って取り除いてください。



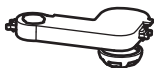
メッシュフィルター



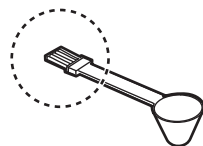
バスケットフィルター

■ 抽出管

- 水タンクから取りはずしてお手入れしてください。(11ページ)



計量スプーンのブラシ部分



■ ガラスポット

- お手入れ後、よく乾燥させてください。サビやカビ発生の原因になります。



取りはずしかた

1 水タンクを本体からははずす

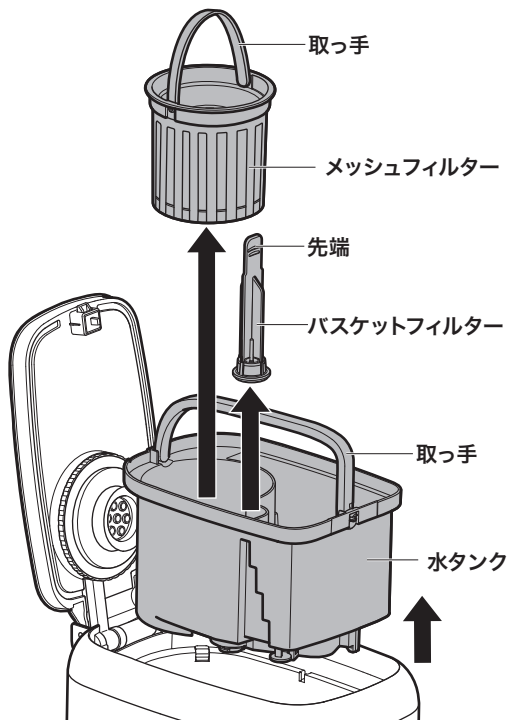
- 水タンクの取っ手をもち、本体から引き上げてください。

2 メッシュフィルターを水タンクからははずす

- メッシュフィルターの取っ手をもち、水タンクから引き上げてください。

3 バスケットフィルターを水タンクからははずす

- バスケットフィルターの先端をもち、水タンクから引き上げてください。

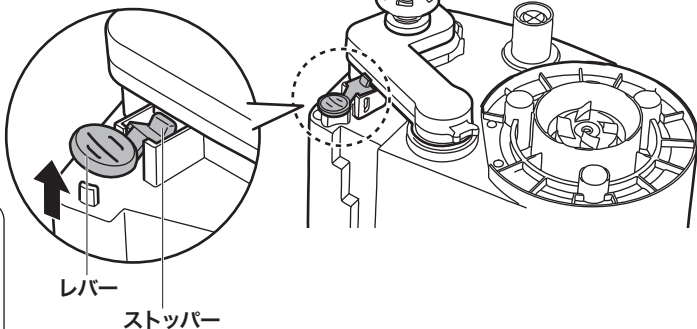
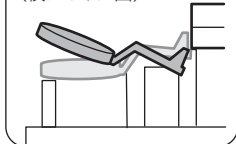


4. お手入れのしかた

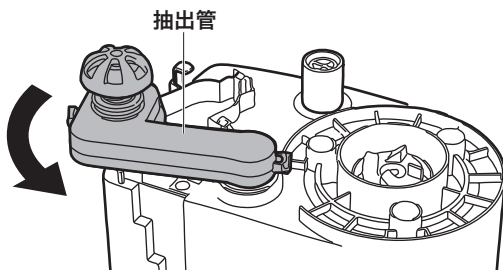
4 抽出管を水タンクからははずす

- ① 水タンク裏側のレバーを持ち上げてストッパーを下げる
● ストッパーが固定します。

(横からみた図)



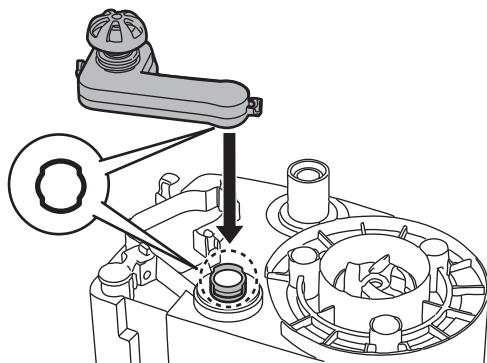
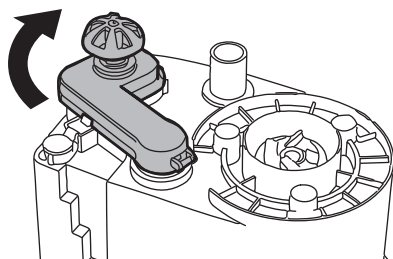
- ② 抽出管を矢印の方向に回す
● 抽出管を持ち上げて水タンク裏からはずしてください。



取り付けかた

7 抽出管を水タンクに取り付ける

- ① 抽出管の形状と水タンク裏の形状を合わせて取り付ける
- ② 抽出管を矢印の方向に回す
● 「カチッ」と音がして抽出管が固定します。



4. お手入れのしかた

2 水タンクを本体にセットする

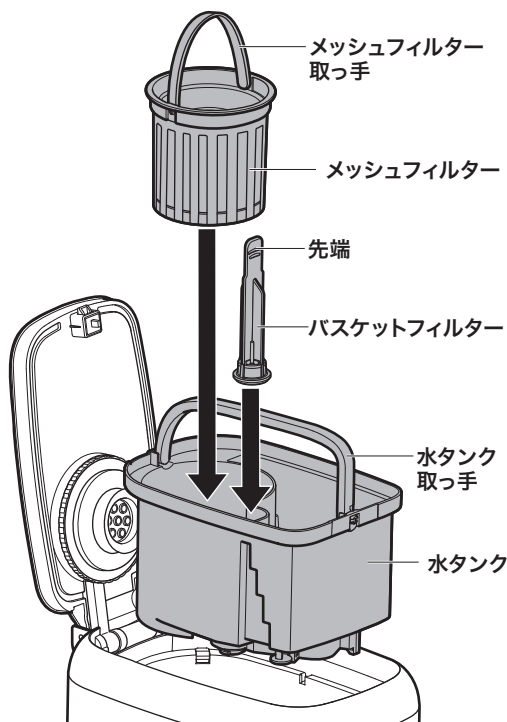
- 水タンク取っ手を持ち、本体の形状と合わせてセットし、上から押し込んでください。

3 メッシュフィルターを水タンクにセットする

- メッシュフィルターの取っ手を持ち、水タンクに垂直にセットしてください。

4 バasketフィルターを水タンクにセットする

- Basketフィルターの先端を持ち、水タンク底の形状に合わせてセットし、押し下げ固定してください。



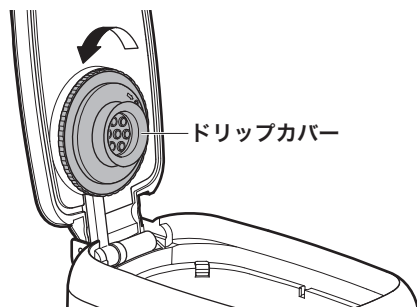
ドリップカバー、パッキン大、パッキン小

ドリップカバーを本体から取りはずし、パッキン大とパッキン小をはずして台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯で、やわらかいスポンジなどを使用して洗い、水でよくすすぎ、乾いた布で水分をふき取り、十分に乾燥させる

取りはずしかた

1 ドリップカバーをふたからはずす

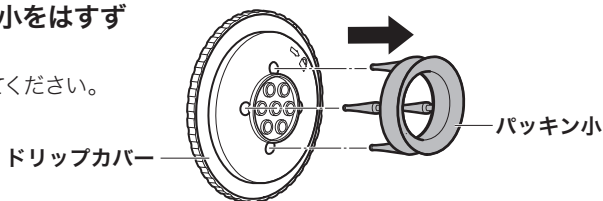
- 矢印の方向に止まるまで回し、手前に引いて、ふたから取りはずしてください。



4. お手入れのしかた

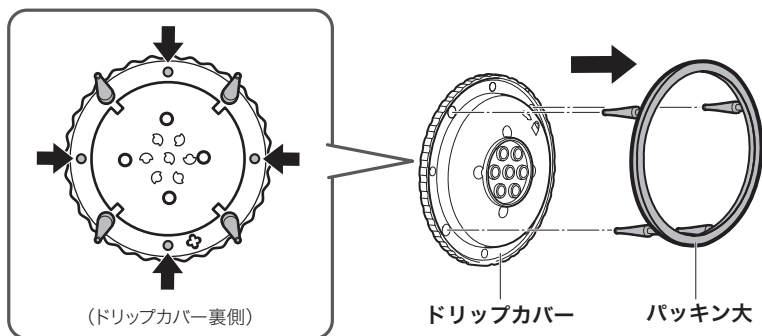
2 ドリップカバーからパッキン小をはずす

- パッキン小はゆっくり引っ張り、ドリップカバーから取りはずしてください。



3 ドリップカバーからパッキン大をはずす

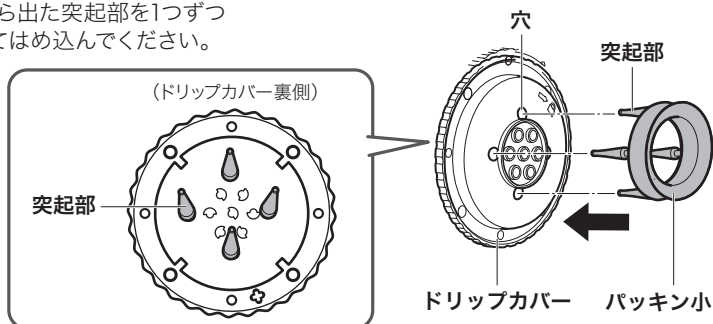
- パッキン大はドリップカバー裏側の矢印部分をお箸などの先端を使用し、押し出してパッキンを浮かせてからゆっくり引っ張り、ドリップカバーから取りはずしてください。
- お箸などの先端でパッキン大を傷付けないように注意してください。



取り付けかた

1 パッキン小をドリップカバーに取り付ける

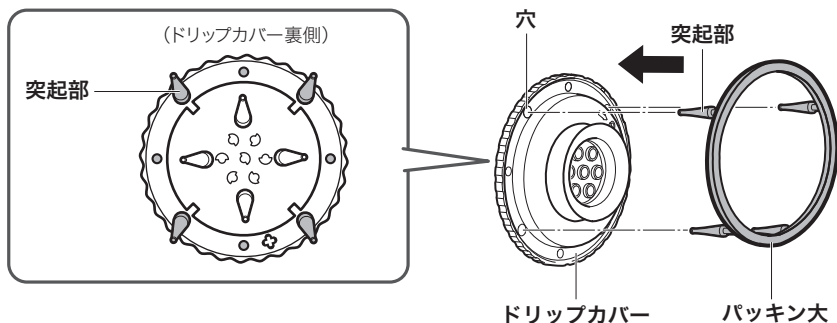
- パッキン裏側の突起部(4カ所)をドリップカバーの穴に合わせ、ドリップカバーの裏側から出た突起部を1つずつゆっくり引っ張り、すべてはめ込んでください。



4. お手入れのしかた

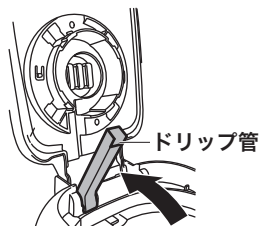
2 パッキン大をドリップカバーに取り付ける

- パッキン裏側の突起部(4カ所)をドリップカバーの穴に合わせ、ドリップカバーの裏側から出た突起部を1つずつゆっくり引っ張り、すべてはめ込んでください。
- ドリップカバーの表面からパッキン大を押し込んでください。



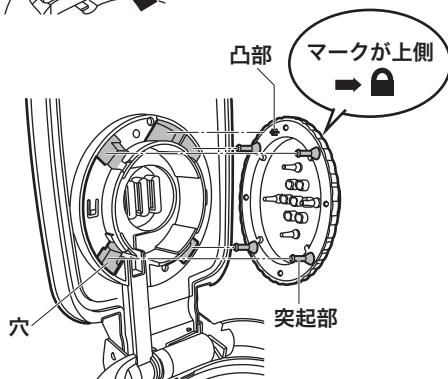
3 ドリップカバーを本体に取り付ける

- ①ドリップ管がドリップカバーの内側に入っていることを確認する

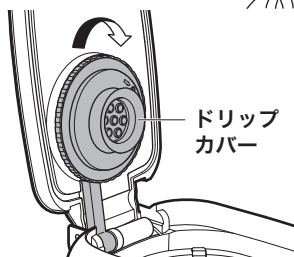


- ②ドリップ口の穴とドリップカバーの突起部をあわせる(4カ所)

- ドリップカバーの凸部を上側にし、凸部も穴に入れてください。



- ③ドリップカバーを矢印の方向に止まるまで回す



4. お手入れのしかた

クエン酸で湯あかを取り除く

- クエン酸(市販品:ポット洗浄用クエン酸など)によるお手入れです。
- 使用頻度や水質により、湯あかが付くことがあるので、1～3ヵ月に1回下記手順で湯あかを取り除くお手入れをしてください。

1 バasketフィルターとメッシュフィルターを取り付けた水タンクを本体に取り付け、ガラスポットを保温板にセットする

- ドリップするときと同じように各部品をセットしてください。

2 水タンクに水約500mL(水位目盛約3杯半)とクエン酸水10gを入れかき混ぜる

3 モード切替ダイヤルを「粉」に合わせ、電源ボタンを押す

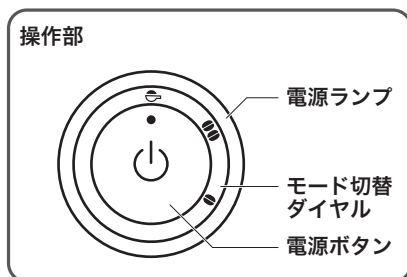
- コーヒー粉、豆は入れないでください。

4 水タンクの水がすべてガラスポットに移動したらガラスポットの水をすてる

5 クエン酸のにおいをとるために、水だけで手順2～4を2～3回繰り返す

- 連続して手順2と3を繰り返す場合は、電源を「切」にして、約5分以上間をあけてください。

■クエン酸でお手入れした後もコーヒーの抽出量が通常より少なかったり、抽出時間が長いと感じた場合は手順1～5を繰り返してください。



■長期間お使いにならないときは

- お手入れのあとよく乾燥させ、ポリ袋などをかぶせ、直射日光や高温多湿をさけた乾いた場所に保管してください。
- 長期間保管したあとは、お手入れをおこなってからご使用ください。

5. 故障かな？！と思ったら

ご使用中に異常が生じたときは、つぎの点をお調べください。

それでも調子が悪いときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、ニトリお客様相談室にご連絡ください。

こんなとき	お調べいただくこと／なおしかた
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？ →電源プラグを正しくコンセントに差し込んでください。 ●電源ボタンを押しましたか？ →電源ボタンを押してください。 ●モード切替ダイヤルを正しい位置にセットしていますか？ →モード切替ダイヤルを正しい位置にセットしてください。 ●ふたはきちんと閉まっていますか？ →水タンクなどを正確にセットし、きちんとふたを開けてください。
コーヒーが抽出されない 抽出されにくい	<ul style="list-style-type: none"> ●水タンクに水を入れましたか？ →水タンクに水を入れてください。 ●メッシュフィルターにコーヒー豆もしくは粉を入れましたか？ →メッシュフィルターにコーヒー豆もしくは粉を入れてください。 ●モード選択を正しく行っていますか？ →豆を入れたときは豆モードを選択してください。 ●抽出管や抽出弁に粉が溜まっていませんか？ →お手入れのしかたを参考にお手入れしてください。(8～15ページ) ●ガラスポットはきちんと奥まで差し込まれていますか？ →ガラスポットを奥まで差し込まないと抽出弁が開かず滴下されません。 ●本体内部に水のミネラル成分などが付着して抽出されにくくなる場合があります。 →お手入れのしかたを参考にお手入れしてください。(8～15ページ) ●メッシュフィルター内に粉が残っていませんか？ →メッシュフィルターは抽出ごとにお手入れしてください。
コーヒーがあふれる	<ul style="list-style-type: none"> ●MAX(4杯)以上の水を入れていませんか？ →MAX(4杯)以上の水を入れしないでください。 ●ガラスポットは空の状態でセットしましたか？ →ガラスポットを空にしてから抽出を開始してください。 ●ガラスポットはきちんと奥まで差し込まれていますか？ →ガラスポットを奥まで差し込まないと抽出弁が開かず滴下されません。
バスケットの中に コーヒー豆が 換かれずに残る	<ul style="list-style-type: none"> ●豆の量とモード選択は適正に行われていますか？ →豆の量が多すぎる、20g以上なのに豆1(豆モード1)を選択していると豆のまま残ることがあります。
バスケットから コーヒーがあふれる	<ul style="list-style-type: none"> ●コーヒー豆もしくは粉を入れすぎていませんか？ →MAX線以上にコーヒー豆もしくは粉を入れすぎると抽出しきらずにメッシュフィルターからあふれることがあります。
コーヒーが粉っぽい	<ul style="list-style-type: none"> ●バスケットフィルターは正確にセットしていますか？ →バスケットフィルターをセットしていないと細かな粉がガラスポットに抽出される原因となります。 ●豆の量とモード選択は適正に行われていますか？ →豆の量が少なすぎる、20g以下なのに豆2(豆モード2)を選択していると粉っぽくなる場合があります。

6. 仕様

品名	全自動コーヒーマーカー
品番	DL2G04
定格電圧	AC100V
定格周波数	50Hz / 60Hz
定格消費電力	ヒーター 900W / ミル115W
定格容量	600mL
種類	ドリップ式(水容器着脱型)
保温装置の有無	有
外形寸法(約)	幅155×奥行300×高さ290mm
質量(約)	2.62kg(ガラスポット含む)
コードの長さ(約)	1m
主な材質	ガラス、ポリプロピレン
付属品	計量スプーン、掃除ブラシ
原産国	中国

- この商品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や周波数が異なる外国では使用できません。
- 商品改良のため、仕様や外観などが予告なく変更される場合があります。

7. アフターサービスについて

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、ニトリお客様相談室へお申し付けください。

●保証書(添付)

「お買い上げ年月日」と「販売店名」など所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。記載内容をよくお読みになり大切に保管してください。

●保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、消耗品および付属品は除きます。

●修理を依頼されるとき


「故障かな? !」と思ったらの表に従ってご確認の後、なおらないときは、まず安全のため電源プラグを抜いて、ニトリお客様相談室へご連絡ください。


●保証期間中は保証書の規定に従って、持込修理、または(場合によっては)商品の交換をさせていただきます。

●その他

- ・商品に異常がある場合は、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。
- ・アフターサービスについてご不明な点は、ニトリお客様相談室にお問い合わせください。

株式会社 ニトリ
お客様相談室
受付時間 10:00 ~ 20:00
(年末年始除く)

フリー
ダイヤル  **0120-014-210**
携帯電話からのお問い合わせ(有料)

ナビ
ダイヤル  **0570-064-210**
※IP電話からはご利用できません。